

「迫りくる観光危機」

持続可能な観光に取り組む全国の有志たちが集結し、
「サステナブルツーリズム東京 2030 ビジョン」を宣言！



「世界観光の日」9月27日に、第2次ムーブメントが本格始動

2024年9月27日「世界観光の日」に、全国の有志達が集まり、第3回 JARTA フォーラムを開催しました。2014年にパイオニアたちの取り組みによって開始された「第1次サステナブルツーリズム ムーブメント」から10周年の節目を迎え、激変する世界、ツーリズム産業において、将来、それぞれが思い描く持続可能な観光を実現するために、サステナビリティや認証制度に関する最新の国際情報、2026年にEUで施行予定の Green Claims Directive の解説、各地で活躍される事業者からの様々な発表やディスカッションが行われました。

そして、2024年9月27日「世界観光の日」に、「第2次サステナブルツーリズム ムーブメント」として新たなサステナビリティジャーニーへと出発します。アフターコロナで、成長するツーリズム産業、とりわけインバウンドビジネスは、日本の経済にとって非常に重要です。しかしながら、短期的な視点や、ビジョンなき無責任な運営によって、観光地は消費の対象として搾取され、もはや、オーバーツーリズムという言葉だけでは全体像をとらえることが困難です。マネジメントなき運営によって、今後、様々な社会問題を引き起こす可能性は否定できません。現在進行中のこの状況を「観光危機」として認識し、2030年に日本の観光のあるべき姿を目指し、ここに「サステナブルツーリズム東京 2030 ビジョン」を宣言します。そして、その実現のために3.5%ルールの達成を目指し、日本の人口の420万人に、このビジョンに賛同してもらえるように、普及・啓蒙活動を行ってまいります。

<お問い合わせ先>

連絡先: 一般社団法人 JARTA 事務局 (Japan Alliance Of Responsible Travel Agencies)

〒604-8811 京都市中京区壬生賀陽御所町8番地2 (2-8 Mibukayogoshicho, Nakagyo-ku, Kyoto City, Kyoto, 604-8811)

Tel: 075-406-7700 / Email: secretariat@jarta.org / W: <https://www.jarta.org/>

【全文内容】

今、環境危機とともに観光危機が迫っている。この危機意識を共有し、直ちに行動を起こさなければならない。

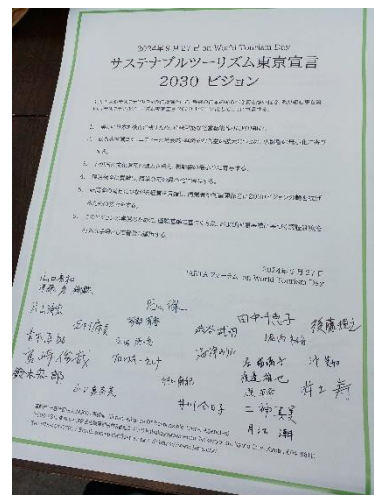
本日 World Tourism Day から 2030 年までを第 2 次ムーブメントとして捉え、これまでの取り組みをさらに強化し推進するために出発する。この 6 年間は勝負の年である。

全員一丸となって、旅の力を信じ、それを最大限に発揮し、旅行者、地域、地球に幸福をもたらし、さらにツーリズム産業に関わる事業者自身が幸福である「四方よし」の社会を実現できるか。

あるいは、短期的な視野の下、自らの利益をひたすら追求し、志なき運営によって地域の資源を搾取し、様々な負のインパクトを社会にもたらし、ツーリズム産業はさらに世間の信頼を失墜するのか。

その自覚と責任が問われている。

1 人 1 人がサステナビリティの伝道師として、将来の日本のあるべき姿を想い描き、取り組む事を誓い、「サステナブルツーリズム東京宣言 2030 ビジョン」としてここに宣言する。



1. 美しい日本を後世に残すため、持続可能な経営組織作りに取り組む。
2. 訪れる地域コミュニティの社会的・経済的な利益の拡大につとめ、悪影響の最小化に寄与する。
3. わが国の文化遺産の魅力を伝え、悪影響の最小化に寄与する。
4. 環境保全に貢献し、環境負荷の最小化に寄与する。
5. 訪問客の満足につながる経営を目指し、同業者や利害関係者に 2030 ビジョンの輪を拡げるための努力をする。
6. このビジョンの実現のために、国際基準に基づく方策、および国際基準に基づく認証制度を有効な手段として普及し運用する。

【第 1 章】 【第 2 章】 第 1 次サステナブルツーリズム ムーブメントから JARTA の設立まで

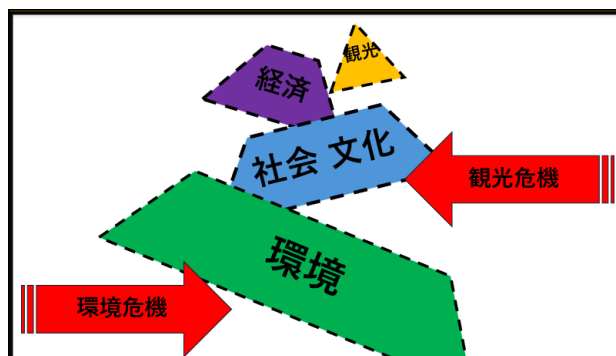
当日は、これまでの取り組みを 4 章のストーリー仕立てて発表。2014 年第 1 回サステナブルツーリズム国際認証セミナーを奈良で実施。日本エコツーリズムセンターと共同して、GSTC 国際認証の普及啓発活動を開始。その後、2015 年から毎年各地でサステナブルツーリズム国際認証フォーラムを開催し、2018 年に国連大学にて、「サステナブルツーリズム東京宣言」を採択しました。



<お問い合わせ先>

【第3章】観光危機


ツーリズム産業は、環境、社会、経済という基盤があって、初めて成り立ちます。オーバーツーリズムのみならず、観光による過度な開発は、地価の高騰、地域コミュニティの分断、ジェントリフィケーション、様々な負の影響をもたらします。観光が、社会に様々なネガティブな影響を及ぼすのです。観光危機は人災であり、その運営の在り方を 180 度転換することで、プラスの影響を及ぼすことが可能です。



【第4章】第2次サステナブルツーリズムムーブメント「2030 ビジョン採択」

今、我々は本日から 2030 年までを、第2次サステナブルツーリズムのムーブメントとして、具体的な行動をとらなければなりません。もはや、第1次ムーブメントのように、意識の高い人だけが取り組む問題ではなく、事態は深刻です。誰もが自分事として、責任ある行動を起こさなければ、ツーリズム産業存続の危機にまで関わってきます。

役割と責任



- 事業者：**
搾取型の古い観光経営からの脱却。
持続可能な観光運営の実施。
旅の楽しみ方をインスパイアする。
- 旅行者：**
ツーリストシップの精神で旅する。
- 受け入れ地域：**
事業者と旅行者が常に感謝、敬意をもって行動することで、地域を維持・管理し受け入れよう。

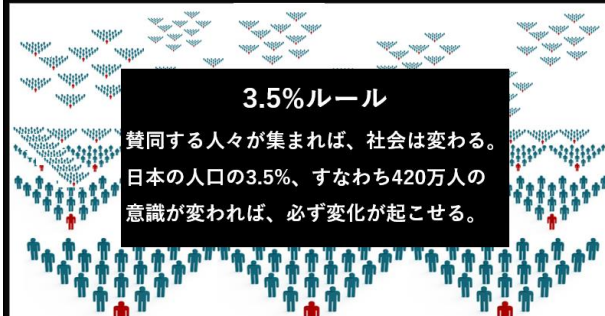
3.5%ルール 420 万人の賛同者を集め、持続可能な観光を実現する

賛同人の合計人数を「2030 年 9 月 27 日までに 420 万人に達する」ことを目指します。

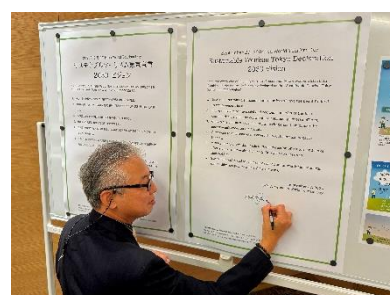
これは、3.5%ルールに基づき、日本の人口約 1 億 2 千万人の 3.5%である 420 万人がご賛同いただくことで、社会の意識を変えることができるという信念に基づきます。

ご賛同いただける方は、署名を随時受け付け中です。

3.5%ルール



賛同する人々が集まれば、社会は変わる。
日本の人口の3.5%、すなわち420万人の意識が変われば、必ず変化が起こせる。



<お問い合わせ先>

連絡先：一般社団法人 JARTA 事務局（Japan Alliance Of Responsible Travel Agencies）

〒604-8811 京都市中京区壬生賀陽御所町8番地2（2-8 Mibukayogoshō-cho, Nakagyo-ku, Kyoto City, Kyoto, 604-8811）

Tel: 075-406-7700 / Email: secretariat@jarta.org / W: <https://www.jarta.org/>

September 27, 2024, on World Tourism Day

Sustainable Tourism Tokyo Declaration

2030 Vision

Now, along with the environmental crisis, the *Tourism Crisis* is looming. We must share this sense of urgency and take immediate action.

Today on World Tourism Day, the second movement of our sustainability journey starts. We declare our commitment to realize a 2030 sustainable society. Over the next six years, we must work diligently to speed up and further strengthen our initiatives.

Our future will depend on how responsibly we conduct our own business.

We believe in the power of tourism and make the most of it to bring happiness to travelers, communities, the globe and as well as people engaged in the tourism industry.

Our future will be bleak if we don't take any responsibility for those four key groups. For example, having a short-term perspective, and pursuing our own interests and exploiting local resources through irresponsible management.

As a result, it causes various negative impacts on society, and the tourism industry loses further social credibility.

Our determination and responsibility are being questioned now.

Each and every one of us pledges to work sustainably to envision what Japan should be in the future. It is hereby declared as the "Sustainable Tourism Tokyo Declaration 2030 Vision".

1. Implement sustainable management in order to leave the beautiful land to future generations.
2. Strive to maximize the social and economic benefits of the local communities we visit and contribute to minimizing adverse effects.
3. Convey the charm of Japan's cultural heritage and to minimize the negative influences on the society.
4. Contribute to environmental conservation and minimize negative impacts.
5. Aim for management that leads to the satisfaction of visitors and make efforts to expand the circle of the 2030 Vision to peers and stakeholders.
6. Spread this vision and take measures based on international standards and certification programs as effective means.

September 27, 2024
JARTA forum on World Tourism Day

<お問い合わせ先>

連絡先: 一般社団法人 JARTA 事務局 (Japan Alliance Of Responsible Travel Agencies)

〒604-8811 京都市中京区壬生賀陽御所町8番地2 (2-8 Mibukayogosho-cho, Nakagyo-ku, Kyoto City, Kyoto, 604-8811)

Tel: 075-406-7700 / Email: secretariat@jarta.org / W: <https://www.jarta.org/>

We aim to increase the total number of supporters to 4.2 million by September 27, 2030.

4.2 million people means 3.5% of Japan's population of 120 million. It is a tipping point to bring a big impact to the society based on the 3.5% rule.

It is our belief that it is possible to change the consciousness of society and transform it into a better one if we reach the number.

Please sign here to support the Sustainable Tourism Tokyo Declaration 2030 Vision.

<お問い合わせ先>

連絡先: 一般社団法人 JARTA 事務局 (Japan Alliance Of Responsible Travel Agencies)

〒604-8811 京都市中京区壬生賀陽御所町8番地2 (2-8 Mibukayogoshō-cho, Nakagyo-ku, Kyoto City, Kyoto, 604-8811)

Tel: 075-406-7700 / Email: secretariat@jarta.org / W: <https://www.jarta.org/>